

「6月に思うこと」

札幌報恩学園
園長 富田 栄子



毎年6月の理事会では各事業所の前年度の業績や予算の執行状況などの報告がされます。私たちの一年間の成果が問われることとなります。就労の管理者を任されていたときは、少しでも多くの賃金を利用者様に払いたいと、365日休みなしの入所の洗濯業務を請け負いました。居宅の時はみんなで作戦会議を開き目標値を掲げ、儲けなくても赤字にならないよう頑張ろうと私も介護福祉士の資格を取りました。入所の管理者になり、定員は死守しようと思っておりましたが、4月に147名いた利用者様が3月には144名に。入所の待機者は47名もいるのですが、支援の質を担保できるだけの職員が確保できません。国の定める常勤換算数は十分にクリアしているのですが、高齢化や重度化が進む中、支援には多くの職員の手が必要です。悩みは尽きなく管理者としては反省すべき事が多い一年でしたが、なにはともあれコロナも5類になり、利用者様にとっては帰省や外出も増え笑顔の多い一年だったのではないのでしょうか。

～ここからは各事業所の紹介と様子をご覧ください～

まずは札幌報恩学園から☆

4月から、さくらは23名の利用者様と16名の職員でスタートしました。女性職員が少し減り、利用者様の中には「男が多いな」と思われている方もおられると思いますが、そこは職員一同、明るく、楽しいさくらにしていけますので、どうかよろしくお願い致します。お花見やゴールデンウィークのイベントを実施しました。天気にも恵まれ、楽しく過ごして頂きました。他にも日帰り旅行や夏・冬休み、季節毎の行事、週末外出なども予定しており、一年を通して「楽しく」「充実して」過ごして頂けるように企画・運営させて頂きます。毎日の生活の中で利用者様が「安全に」「健康的に」過ごせるように尽力していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

さくら 支援係長 大友

ポピーは23名の女性の利用者様が生活しています。半数以上が50代、60代の方々です。今年誕生日が来ると70歳になる利用者様もあり、高齢化の波はポピーにも押し寄せています。車椅子の方、嚥下の問題など医療との連携が不可欠な方も多く、健康面には特に気を付けて支援しています。昨年度はコロナやインフルエンザなど、感染症に罹患する方が多かった為、今年度は感染症予防に努め、皆が健康に楽しく過ごせるよう支援していきたいと思っております。一年間よろしくお願いいたします。

ポピー 支援係長 荒谷

ルピナスは20代から60代の女性利用者様が生活されています。今年度は皆さんに外出行事を楽しんで頂ける一年になるよう、様々な企画を考案しています。

5月はラソラ札幌に出掛けてショッピングやレストランでの食事を楽しんで頂いたことや、羊ヶ丘展望台ではクラーク像の前で記念撮影もできました(あいにくの曇天でしたが…) 今後も皆さんの食べたい物、行きたい場所の希望を汲み取った外出行事になるよう工夫していきます。どうかお天気に恵まれた晴れやかな外出ができますように！

ルピナス 支援係長 津田

